

水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課 R2.2.7



紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立山口小学校4年生**の皆さんが見学に来られ、当事務所の流水調整課2名が、見学のご案内をいたしました。

紀の川大堰の概要説明から始まり、館内や展望デッキ、魚道・魚道観察室をご案内いたしました。

魚道では、オレンジ色の大きな鯉が、皆さんを歓迎するかのように姿を見せてくれました。「大きい魚いてる〜！」と元気な歓声が上がっていました。

団体見学概要

日時: 令和2年2月7日(金) 14:00~15:00

会場: 水ときらめき紀の川館

参加人数: 36名

団体名: 和歌山市立山口小学校

紀の川大堰概要説明

最初に、職員が大きなスライドを用いて紀の川や紀の川大堰の仕組み・役割などをクイズ形式で説明しました。

“紀の川大堰4つの役割”に関するクイズでは、積極的に手を挙げて問題に答えてくれました。

また、「水にはどんな使われ方がありますか？」の質問に、“お花の水やり、手洗い、洗濯、うがい”など、たくさんの答えを発表してくれました。



魚道の見学



オレンジ色の鯉や大きな魚の群れが、“人工河川式魚道”を泳ぐ姿が見られました。「黒い魚、めっちゃおるで〜」と皆さんの元気な声が、魚道に響き渡っていました。



魚道観察室の見学



魚道観察室では、「のぼっていった魚は、どこに行くのですか」、「魚道観察室の下には、何があるのですか？水(紀の川)ですか？」など、皆さんからたくさんの質問をいただきました。



魚道観察室へ向かうスロープ



いい質問
ですねえ。

ここの下には
何がありますか？

職員へ質問中の皆さん

記念撮影



ゲートに木が
引っかかったら、ゲート動
くんかな？



操作室



館内の見学・展望デッキ

2Fでは、ガラス越しからの操作室を見学しました。「ゲートに木が引っかかって、ゲートが動かないことがありますか？」という質問をいただきました。また、展望デッキでは、記念撮影も行いました。風も強くなく穏やかな一日でした。



質問

Q. 私たちが1日に使う水の量はどのくらいですか？

- A. 紀の川周辺に住む私たちが使用している水は、紀の川の水をきれいにしたものです。私たちは、調理、洗濯、風呂、清掃など毎日の生活の中でたくさん水を使います。
平均一人あたり1日約200～300Lの水を使用しています。
これは家庭にある浴そう一杯分ぐらいの量に相当します。

